



IMGU エムアイカード支部 ニュースフラッシュ



5/15（月）に労使協議会を開催しました。

労使協議会とは？

労働協約の締結や改定、労働条件に関する事項等、会社と組合が協議、合意をする場です。具体的には、人事制度改定や賞与、春の交渉の際に組合から会社に要求を行っています。

会社側は社長・常務・総務人事部長・経営企画部長、組合側は委員長・副委員長・書記長・専従が参加しています。

今回の労使協議会の議題は「2023年6月賞与について」です。

5/10（水）の支部執行評議員会に基づき、まずは組合より申し入れおよび要求書の説明を行い、その後会社より回答をいただきました。

2023年6月賞与要求

<要求書>

- I. 2023年度 社員6月賞与要求
 - 1. 評価要求
 - 2. 賞与要求
- II. 2023年度 エルダー社員6月賞与要求
 - 1. 月給制エルダー社員賞与要求
 - 2. 時間給制エルダー社員賞与要求

三越伊勢丹グループ労働組合
エムアイカード支部



【会社回答】
全項目 組合要求どおり
満額回答



三越伊勢丹グループ労働組合 エムアイカード支部執行委員長 益田 直哉

今回の賞与要求について早期のご回答を頂き、ありがとうございます。

賞与要求の考え方やそれに対するメンバーの声については先程申し上げた通りではございますが、「正常口座数の減少」や「ファイナンスで収益を上げていくこと」に関して『自分でできることは何かを考えたい』という健全な危機意識をもって取り組んでいく姿勢の声も多数挙がっております。今期の目標設定や賞与のフィードバックの時期となって参りますが上長が部下一人ひとりと向き合い、全社方針・各部アクションプラン、個々人の育成にそった目標設定や適正な評価のフィードバックがなされるよう会社側から発信していただきますようお願いいたします。

また組合としては「現場活動」と「情報発信」に引き続き注力して参ります。例えば会社方針と現場との認識の乖離があった場合、なぜそのような状況になっているのか、どのような課題があるのかをメンバーの声をもとに吸い上げ経営懇話会で情報共有をさせていただきたいと思っております。また、本年度はステージCの制度改定を中心とした労使通年協議においても進捗状況や論点を毎月動画でわかりやすく発信し、より議論に参加しやすい運営を行って参ります。今年度も引き続きよろしく願いたします。

株式会社 エムアイカード 代表取締役社長執行役員 梅田 貴生

今、お話をいただきました通り従業員の皆さんが自ら考えて経営に参加するような意識が少しずつ芽生えてきているように感じています。

昨年度は残念ながら営業利益目標は達成できませんでしたが、目標を上方修正し、失敗を恐れずにチャレンジをした“姿勢”、「2030年度の営業利益100億」に向かうためには“勇気”が何より重要であり、昨年度は実績を残すことができた1年でした。また、昨年の外部取扱高はエムアイカード社始まって以来の最高額である約5,400億円を達成しました。過去の最高額が2019年度の5,199億円で、当時の会員数は約253万口座。当時より40万口座減少した中で昨年度は最高額を達成しています。百貨店利用に留まらず、お客さまのウォレットシェアをいかに捉えていくかが重要であり、いずれファイナンス収益へと繋がります。この部分について皆さんには自信を持っていただきたく、そのための情報発信をしていきたいと思っております。また、競合他社と同様にコスト構造改革による効率的な会社運営も必要であり、皆さんと一緒に知恵を出しながら前向きに推進していきたいと思っております。

エムアイカードに着任以来ホールディングスとのコミュニケーションに注力してきましたが、ホールディングスや百貨店との兼務体制によりさらにコミュニケーションが円滑になり、エムアイカードに対する期待値が高まっていることも感じています。大変名誉なことであり、コミュニケーションを取ってきて良かったと感じています。

最後に、従業員の皆さんの声や情報は最重要だと思っており労使間でしっかり共有しながら必要な対策を打っていくことを繰り返し行っていきたいと思っております。引き続きよろしく願いたします。ありがとうございました。